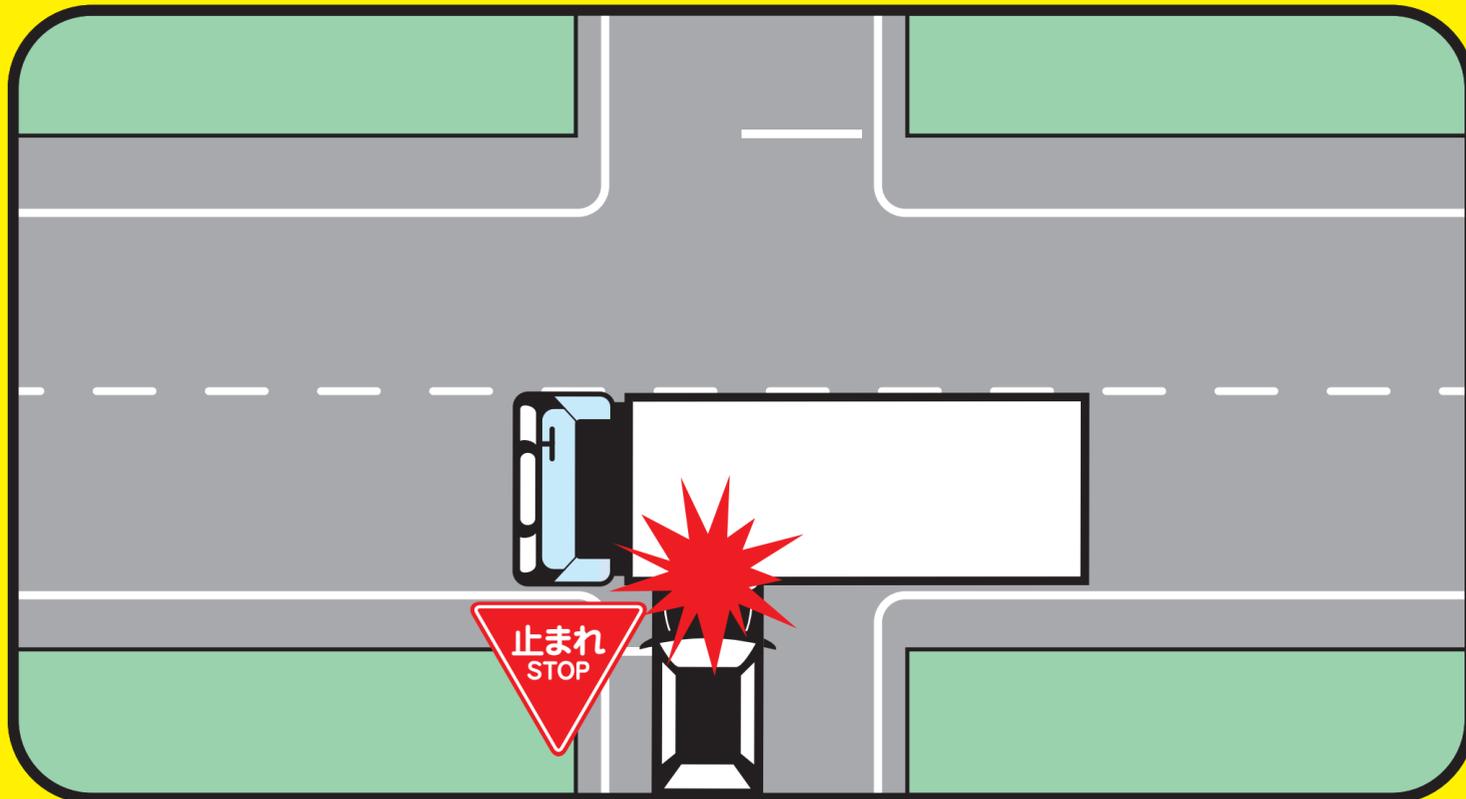


一時不停止の相手車と衝突

～見通しの良い交差点であり、お互いに良く見える～



事故事例ニュース

第314号

四国交通共済協同組合
安全対策部
坂出市番の州公園6番6号
(安全対策部直通)
0877-85-7992
電話0877-44-4416(代)

どのような場所か…

信号のない交差点で、トラック側は片側1車線道路、相手側は非分離の一時停止規制のある道路。見通しは良い。

どのような事故か…

トラックが直進中、左から一時停止せず侵入してきた相手車と衝突した。

原因は…

相手は一時不停止かつ右方の安全確認不確認。トラックは左方からの相手に対する動静不注視。

この事故を防ぐためには…

相手側に一時停止規制がかかっているにもかかわらず、必ず一時停止するとは限りません。

また、見通しの良い交差点で相手に気づいていても、逆に相手が自分に気づいているとは限りません。

事故を起こせば相手の過失が大きくても、トラックに過失があり、車・積荷の破損や怪我等大きな影響が出ます。

何事も過信せず、危険予知力を高め、防衛運転を心掛けましょう。

《事故防止上の注意点》

- 優先意識を捨てる。
- 相手が止まるだろうと「だろう」運転しない。
- 慣れた交差点ほど警戒心を高める。
- 特に、交通閑散な地域では、一時停止を無視する車両に注意。
- 狭い道からの自転車・歩行者の飛び出しに注意。
- 状況に応じて、交差点手前で減速し、適切な速度で通過する。

参考（見通しの悪い一時停止交差点での基本動作）

- ・停止線で停止（白線前で停止）
- ・見せる停止（車の頭だけ少しだし、左右から見える位置に停止）
- ・確認の停止（左右が見える位置で停止して、安全確認）

の「多段階停止」を励行します。

油断大敵 相手が自分に
気づいていないとは限らない